

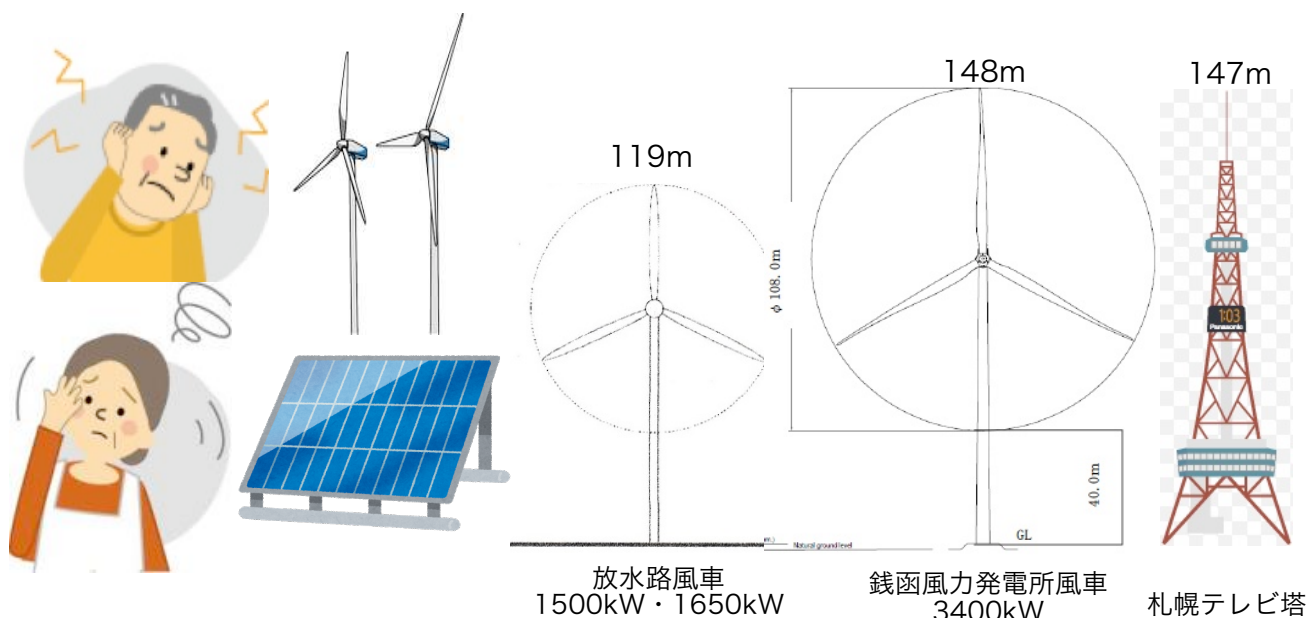
【学習会】

取材でわかった風力発電と太陽光発電の問題点

風力発電が集中する地域で何が起きているのか？海外の反対運動や規制はどうなっているのか？風力や太陽光発電による健康被害、再生可能エネルギーの発電所新設に伴う高圧線問題等、知られざる問題点を紹介していただきます。

ライジングサンロックフェスティバル会場では 3300kW・2基の風力発電機が完成、試運転が間近に迫っています。生協前の道路や住宅地から見える高さ 140m の巨大なものです。また花畔に近い新港工業団地に 3200kW の風力発電機が 7 基も建設中、新港西側の銭函海岸にも 3400kW のものが 10 基建設予定です。羽根の直径は 108m もあり 148m の高さは札幌テレビ塔と同じくらいです。

大型風力発電機から発生する低周波音は頭痛・めまい・吐き気・睡眠障害等の原因になります。被害は日本だけでなく世界（ドイツ・デンマーク・オーストラリア・カナダなど）で報告されています。建設され、稼働してしまうと、健康被害が出てても風力発電機を止めることは困難です。私たちは安全に暮らし働くことはできるのでしょうか？



◆日時：平成 29 年 12 月 10 日（日）13：30～15：30

◆場所：花川北コミュニティセンター 石狩市花川北 3-2 ☎0133-74-6525

◆講師：加藤やすこ氏 環境ジャーナリスト・いのち環境ネットワーク代表
「週刊金曜日」「食べ物通信」などに記事掲載。
著書「電磁波・化学物質過敏症対策」「電磁波から家族を守る」等

◆参加費：300円

主催・問い合わせ：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会
安田 (0133-74-6198)

<http://windterbin.lbcc-alumni.jp/index.html>